

着付け職種技能検定 1 級学科試験

平成 2 9 年 6 月 1 3 日 (火)

一般社団法人全日本着付け技能センター

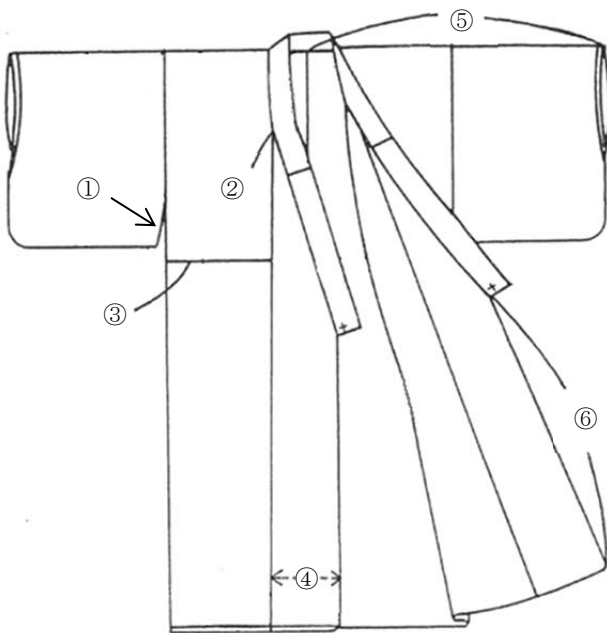
問題 1. 時代と服装の関係について、下記の中から適当なものを1つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 鎌倉時代 2. 弥生時代 3. 江戸時代 4. 奈良時代

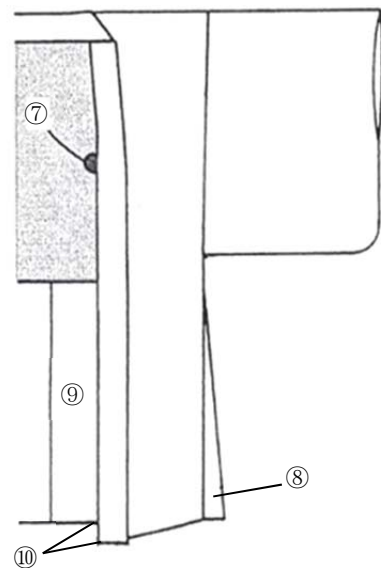
ア. 右衽令 イ. 友禅染 ウ. 壺装束 エ. 袈裟衣 オ. 名護屋帯 カ. 名古屋帯

問題 2. 次の着物の各部位の名称について、下記の語群の中から適当なものを1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

〔男物衿〕



〔男物羽織〕



〔語 群〕

ア. 襟先	イ. 内揚げ	ウ. まち	エ. 前下がり	オ. 衿先
カ. 振り	キ. 身八つ口	ク. 剣先	ケ. 前身ごろ	コ. 乳
サ. 前幅	シ. 裾折り返し	ス. くり越し	セ. 裾衦	ソ. 衿
タ. 衽幅	チ. 共衿	ツ. 背縫い	テ. 人形	ト. 衿下 (襟下)

問題3. 次の説明に該当する文様を下記の中から2つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 四君子に含まれる文様。
2. めでたい、縁起の良い文様。平安時代に中国から幸福や繁栄のしるしとして渡来し、これに日本独自のものが加わった。
3. 平安時代から宮廷を中心に、公家の装束や調度品に用いられた織物に施された文様。

ア. 松	イ. 蘭	ウ. 瑞雲	エ. 慰斗
オ. 菱文	カ. 亀甲	キ. 菊	ク. 麻の葉

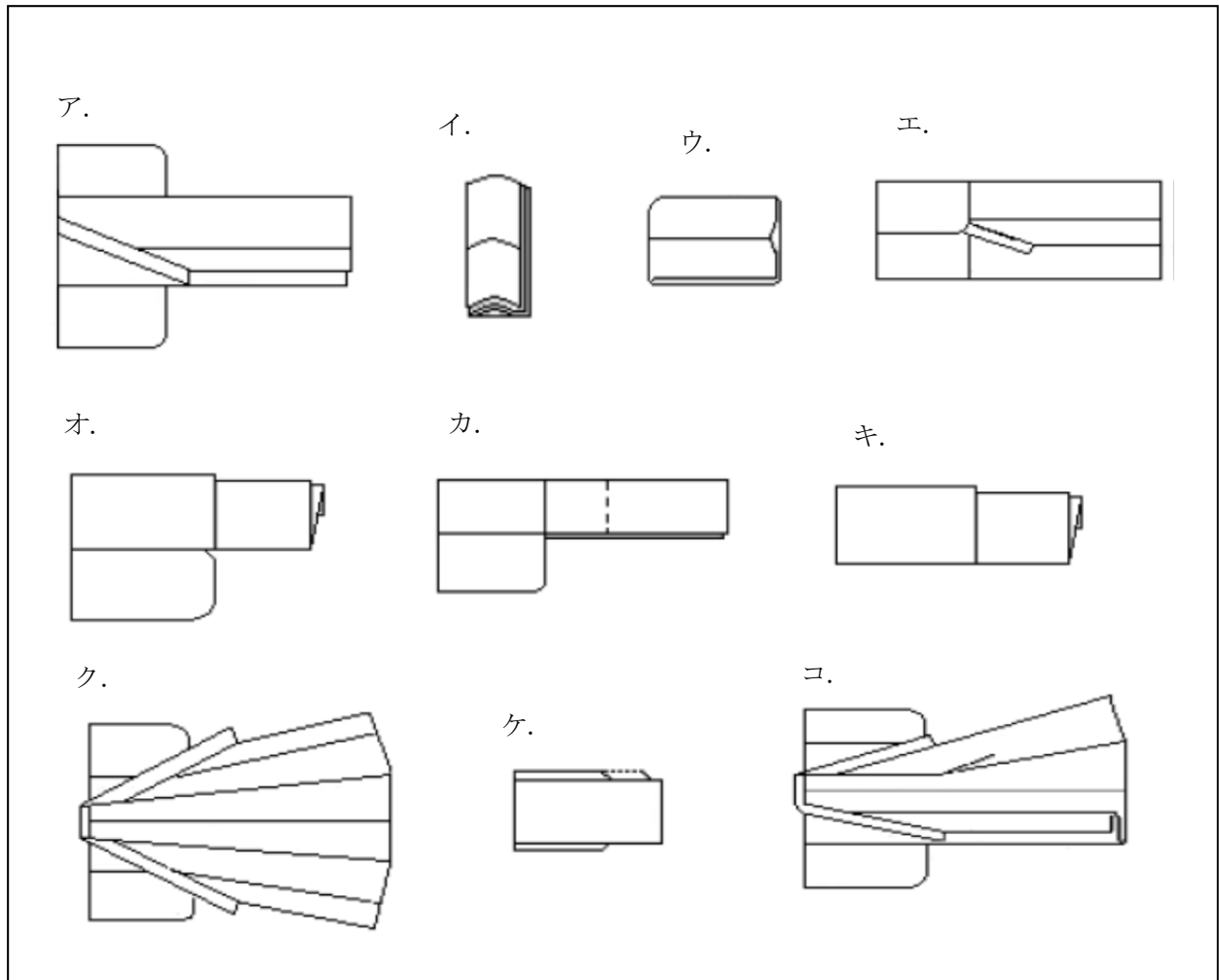
問題4. 男女の着物の主な違いについて、() にあてはまる最も適当なものを下記の中から1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

1. 男ものの着物 —— (①) に仕立ててあるので、着物丈が定まっている。
着物の脇には身八つ口はなく、袖には (②) がある。
衿は (③) で、くり越しがない。
2. 女ものの着物 —— 着物の丈は (④) に仕立ててあり、着物丈が長い。
脇には身八つ口が開いていて、袖には (⑤) がある。
衿は広衿または (⑥) で、くり越しがある。

ア. 身幅	イ. 棒衿	ウ. 着丈	エ. 共衿 (掛衿)
オ. 振り	カ. ばち衿	キ. 身丈	ク. 人形

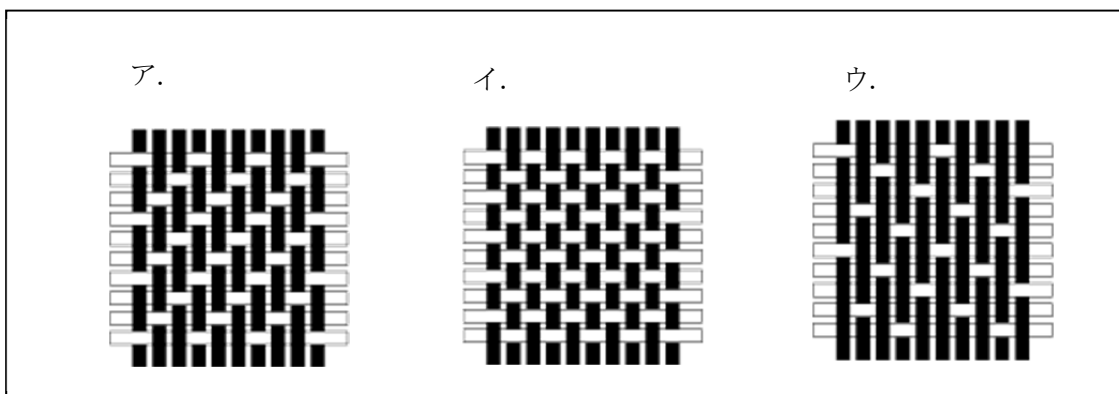
問題5. 長着（本だたみ）のたたみ方について、下記の中から必要なものを選び、正しい順序になるように並べて、その記号を記入しなさい。

(1) → (2) → (3) → (4) → (5)



問題6. 三原組織のそれぞれの代表生地を説明しているものを1つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 朱子織（縹子織） 2. 平織 3. 綾織



問題7. 次の織物の説明について、下記の中から適当なものを1つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 塩瀬

2. 絹

3. 縮緬

ア. 染の着物地で、全体に光沢がある紋織物。

イ. からみ織と平織を交ぜて織った、薄くて織り目が透けている絹織物。

ウ. たて糸を細くして、よこ糸を太くして織るので、布面によこ畝が現れるのが特徴。

エ. 横糸に数色の色糸を使い、模様部分だけをつづら折りのように織り進めて模様を表した織物。地組織の横糸も折り返されて織られるため、色の境目には縦方向にすきまができる。

オ. 平織りと紗織りをまぜた組織で、夏の代表的な染生地。

カ. たて糸に撚りのない生糸、よこ糸に撚りの強い生糸を用いて平織にした後、特殊な液体に入れ、煮て精練して仕上げた絹織物。

問題8. 次の染物について、下記の中から適当なものを1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

1. 京友禅

2. 江戸小紋

3. 加賀友禅

ア. 布地のところどころをつまみくくるか、しわを寄せて縮め、これを染液に入れて染め、その後糸を解きもしくはしわを伸ばし、種々の模様をあらわし出した染め物。

イ. 人物・花鳥・植物などの多彩な模様染めで、室町時代末期にインド・ペルシアから渡来した。

ウ. 昔は主に袴に用いられたもので、布地一面に細かい模様を染め出したもの。

エ. 自然の草花や鳥などを写実的に描く。小ぶりの花、虫くい葉などが臙脂、藍、黄土、緑、紫の五色により構成されている。

オ. 写生のような画風、繊細華麗な装飾画が基本。御所解文様、有職文様など柄行きは遠目にも映える大柄が多く、刺繍、金箔が加わり豪華なもの。

カ. 琉球で始まった型紙による染物。

問題9. 次の着物の着用時季について、()にあてはまる最も適当なものを下記の中から1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

1. 袷の色無地は (①) に着用する。
2. 薄物の小紋は (②) に着用する。
3. 単の訪問着は (③) に着用する。

ア. 7月から10月	イ. 9月から3月	ウ. 6月と9月	エ. 6月から9月
オ. 5月から10月	カ. 7月と8月	キ. 10月から5月	ク. 8月のみ

問題10. 着物の用途、格等の合わせ方に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. 織りの中振袖は、袖丈が長くても礼装にはならない。
- イ. 江戸小紋の一つである鮫小紋の着物は、色無地一つ紋の着物と同格になる。
- ウ. 絵羽模様の中振袖に袋帯を合わせると礼装になる。
- エ. 五つ紋付きの色留袖は黒留袖と同格にはならない。
- オ. 小紋柄の振袖は、袖丈が長ければ礼装になる。

問題11. 紋の種類について、()にあてはまる最も適当なものを下記の中から1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

現在用いられている紋の数は、一つ紋、(1)、(2)で、染紋の種類は、(3)、(4)などがある。正式な紋は、(3)の(1)である。紋を刺繍したものを、染紋に対して(5)という。

また、男子紋服の紋の大きさは、直径(6)である。

ア. 日向紋(陽紋)	イ. 縫紋	ウ. 石持	エ. 陰紋
オ. 三つ紋	カ. 五つ紋	キ. 3.5cm	ク. 2.5cm

問題 12. 次の帯について、下記の中から適当なものを1つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 丸帯

2. 名古屋帯

3. 袋帯

- ア. 袋状に織った帯で、柄は表側のみつけてあり、裏側は無地になっているものが一般的。柄付けには全通、六通、およびポイント柄などがある。
- イ. 男帯の総称。袋帯、単帯などがある。
- ウ. 花嫁が打掛の下に結ぶ帯。
- エ. 太鼓になる部分は表地をそのまま返し、胴を巻く部分は半幅に仕立てた帯。
- オ. 広幅（70cm）に織った一枚の帯地を、二つ折りにして片方のみを縫い合わせて仕立てた帯で、両面に同じ模様が端から端までである。

問題 13. それぞれの時季に使用する着物の小物の適切な素材を、下記の中から1つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 袷の礼装の半衿は（ ① ）である。
2. 夏の長襦袢は（ ② ）を用いる。
3. （ ③ ）の草履は、礼装にはむかない。

- ア. 絹、麻、紗 イ. 紬 ウ. 塩瀬羽二重
- エ. ^{はちゅう}爬虫類 オ. 綸子、縮緬 カ. 朱子（縹子）

問題 14. 次の着物と小物の合わせ方の組合せのうち、適当なものを1つ選びその記号を記入しなさい。

- ア. 中振袖にコルクの草履を合わせる。
- イ. 黒留袖には白色の帯揚げを合わせる。
- ウ. 黒留袖の長襦袢には、色物を用いる。
- エ. 黒留袖に合わせる帯締めは、夏はレース組みの白でなければならない。
- オ. 黒留袖の足袋は、白地であれば、ししゅう入りでもよい。

問題 15. 着物の着付けをするときの心得として、誤っているものを2つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. 着付けを始める前には必ずお客様にご挨拶をする。
- イ. 着付けをするさいのクリップや小物は、着物を傷めないためにも代用品ではなく着付け用を使用する。
- ウ. お客様をお待たせしないために、お化粧後、手を洗わずにすぐに着付けに取り掛かる。
- エ. どのような場所であっても、大切な着物や帯を汚さないように必ず敷物を敷く。
- オ. 正装は公の席で着るもので、相手に失礼にならないよう格式を重んじ、約束ごとを守らねばならない。
- カ. 身なりは特に注意する必要はなく、常におしゃれを心掛ければよい。
- キ. ひも類は、首や肩にかけて作業をしない。

問題 16. 次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. パーマネントウェーブ・結髪・化粧等の方法により容姿を美しくすることは、美容師でなければ業として行うことができない。
- イ. 美容師免許を取得すれば、全国どの都道府県でも美容を業として行うことができる。
- ウ. 有料で着物を着付ける場合は、美容師免許がなければ行えない。
- エ. 美容師でなければ、花嫁の結髪・化粧を業として行えない。

全日本着付け技能センター

1級学科試験【模範解答】

平成 年 月 日()

受験番号	—
------	---

氏名	
----	--

問題1 (各2点)

1 ウ	2 エ	3 イ	4 ア
-----	-----	-----	-----

問題2 (各1点)

1 テ	2 ク	3 イ	4 タ	5 ソ	6 ト	7 コ	8 ウ	9 シ	10 エ
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

問題3 (各1点)

1	イ	キ	2	ウ	エ	3	オ	カ
---	---	---	---	---	---	---	---	---

※1、2、3順不同

問題4 (各2点)

1	1 ウ	2 ク	3 イ	2	4 キ	5 オ	6 カ
---	-----	-----	-----	---	-----	-----	-----

問題5 (各2点)

1 ク	2 コ	3 ア	4 カ	5 ケ
-----	-----	-----	-----	-----

問題6 (各2点)

1 ウ	2 イ	3 ア
-----	-----	-----

問題7 (各2点)

1 ウ	2 オ	3 カ
-----	-----	-----

問題8 (各2点)

1 オ	2 ウ	3 エ
-----	-----	-----

問題9 (各2点)

1 キ	2 カ	3 ウ
-----	-----	-----

問題10 (各2点)

ア	ウ
---	---

※順不同

問題11 (各1点)

1 カ	2 オ	3 ア	4 エ	5 イ	6 キ
-----	-----	-----	-----	-----	-----

問題12 (各2点)

1 オ	2 エ	3 ア
-----	-----	-----

問題13 (2点)

1 ウ	2 ア	3 エ
-----	-----	-----

問題14 (2点)

イ

問題15 (各2点)

ウ	カ
---	---

※順不同

問題16 (2点)

ウ
